

エコニュース さって



第 29 号

平成 21 年 10 月 5 日
幸手市市民環境会議
(さって市民環境ネット)
TEL48-0331

秋の光に輝く中川を訪ねてみませんか！

<第 3 回中川探検ウォーク>

野鳥の先生、樹木の先生と一緒に歩いて、自然のなかから、鳥たちや野草、木々の小さな秋をたくさんさがしましょう。

- ・日時 平成 21 年 10 月 24 日 (土)
- ・時間 午前 9 時 45 分～12 時
- ・場所 中川 (東公民館～天神橋付近までの散策)
- ・集合 東公民館、午前 9 時 30 分
- ・参加費 100 円 (保険)
- ・定員 30 名
- ・持ち物 水筒・雨具・筆記用具・カメラ・双眼鏡・図鑑・軍手
*歩きやすい服装、慣れた靴
- ・申込先 さって市民環境ネット Tel 42-6412 本田

今年もイモ掘りやるよ！

<第 48 回腐葉土づくりの会>

私たちのサツマイモ畑をみなさんに開放します。会員でなくても、イモ掘りに参加できます。もちろん、お土産にサツマイモをさしあげます。

- ・日時 平成 21 年 11 月 1 日 (日) 9 時 30 分から
- ・場所 桜泉園と近くの畑 (集合場所は、畑)
- ・定員 20 名
- ・参加費 300 円

もう今年の腐葉土づくりを始めています。当日も落ち葉集めと腐葉土床の仕込みをやりまます。この機会に「腐葉土づくり」を始めませんか。月 1 回程度の活動をして、腐葉土を作るほかに、ジャガイモ、サツマイモや枝豆の栽培もします。

腐葉土が欲しい人もどうぞ！

1 袋 100 円 (約 15 L 入り) でお分けします。

- ・申込先 さって市民環境ネット Tel 42-6412 本田

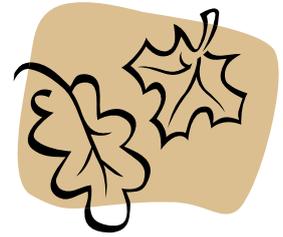


落葉リサイクルで腐葉土づくり

今年は多量の大きなジャガイモを収穫できました！

<第43回 腐葉土づくりの会>

7月4日(土)、前日からの雨が降っていて天候を心配していましたが、朝になったら止み、曇りで蒸暑かったです。会員22名と子育て親子3名の計25名が集まり、ジャガイモ掘りと掘った後への腐葉土撒き、カボチャ畑の草取りを行いました。



事務局から蒸暑い中の作業なので水分補給を忘れないようにと、願いを含めた作業要領の全体を話し、会長から参加のお礼と繰り返し水分補給を忘れないように願い、そして5日のエコライフDAYへの協力願いのあった後、作業に入りました。

野澤氏と相談して、19名がジャガイモ堀と雑草とりを、男性6名が桜泉園で袋詰めをそれぞれ担当して作業を行いました。ただ、雨が続いたため雑草が根を張っていて、しかも畑の土が水分を含んでいて重いため手では掘れず、男性(腐葉土の袋詰めを担当した男性も畑に戻って)がシャベルを使って掘り、女性は草取りとジャガイモの収穫を行いました。

3月、キタアカリ、メイクインをそれぞれ種イモ15kgずつ植え付けしましたが、昨年よりも大きく育ち10倍以上の300kg以上は収穫できました。キタアカリとメイクインの30個の山を作って、参加者、都合が悪くて参加できなかった人にもシェアしました。腐らないために、青くならないために、土を落として、数日、陰干しをして保管するようお願いしました。なお、新井先生と地主にも一袋ずつお礼をしました。

最後に、会長からエコライフDAY(7月5日)を忘れないようお願いし、次回、7月19日(日)はエダマメ植えとサツマイモの草取りを約束して散会しました(澤村)。

<第44回 腐葉土づくりの会>

エダマメ(奥豆)植え、草取り、腐葉土の分配を行いました！

7月19日(日)、梅雨も明けてカンカン照りの蒸暑い中で、19名の参加のもとで9時から途中飲料を取りながらエダマメ植えを行いました。

事前に、事務局からメールや電話でジョウロ、鎌、鍬などの持参をお願いするとともに、野澤さんがタネをまいて育ててくれたエダマメの苗を野澤さんと事務局が運んでいき準備しました。

まず、野澤さんの指導のもとで数人の男性が80cm位の中を紐を張りながら鍬で畝を作り、そこに持参した大きな柄杓で用水路からジョウロに水を汲む人、ジョウロで畝にタツプリ水をあげる人、50cm間隔位でエダマメ苗を植える人に分かれて作業しました。今年は、昨年よりも多数植えたのでエダマメ植えが終わるまでに1時間以上かかりました。

残った時間で、カボチャ畑の草取りを行い、また、腐葉土の欲しい人に分配しました(100円/袋)。

エダマメは、根粒バクテリアがチツソ固定するので、ジャガイモ栽培で残った肥料と腐葉土をまく程度で特に肥料は必要ないと思いますが、生育状況をみて追肥を考えます。

なお、地主の都合で腐葉土を撒いた翌日の7月5日(日)に耕耘してしまったため2週間経て土が固まり、また雑草も少し生えてしまい、再度、耕耘をお願いしたら、当日の早朝、皆が集まっている前で耕耘してくれたので、全員で地主へお礼を言いました。

また、7月4日(土)のジャガイモ収穫時にサツマイモ畑の雑草が少し伸びているのを気にしていたのですが、その後、有志の方が取ってくれており、感謝致します。

次回開催は、16日(日)の予定ですが、お盆に重なるので1週間延期し、8月23日(日)開催することを約束し、散会しました(澤村)。

第45回腐葉土づくりの会

サツマイモ畑の草取り、つる返しと伸び過ぎたつる切り、エダマメ畑の草取りと追肥、カボチャ畑の草取りを行いました!

今月も草取りが必要になったので2回開催しました。

8月9日(日)9時から雑草が繁ってしまったので臨時召集し、蒸暑い炎天下で水を飲みながら、13人の参加のもとで畑全体の草取りを行いました。カボチャは草に負けてしまって葉の色も悪く生長が遅いようでした。一寸早めでしたが10個収穫して(まだ、5~6個残ってます。)持ち帰って食べましたが、やはり未熟らしく水っぽかったというコメントでした。来年、元肥と草に負けないように管理し成熟したものの収穫したいと思います。

8月23日(日)9時開始、立秋を過ぎ朝晩は涼しくなりましたが日中はまだ30度を越えて暑く、各自水分を取りながら17名参加のもとで2回目を開催しました。冒頭、事務局から作業予定を案内し、野澤相談役の指導でサツマイモの畑の草取り、長く絡まったつるのつる返しと伸び過ぎたつる切りを行いました。別に環境課が準備してくれた乾燥汚泥土をエダマメに追肥としてあげました。最後に全員でカボチャ畑の雑草を一掃し一日の作業を終了しました。

会長と事務局から、当会の資金集めの一環で残った熟成腐葉土を販売する方向(大サイズ200円、小サイズ100円)で検討している旨を報告し了解を得ました。また、今年も市民健康・福祉祭りに腐葉土づくりの会を出展する計画であり会員の協力をお願いしました。

今年はエダマメ苗植えを一月遅らしたため、収穫がサツマイモの収穫と同じ頃の10月末から11月初旬になるにしろと報告しました。

次回は、20日(日)が5連休に重なるので、第4週の9月27日(日)開催を約束し散会しました。

なお、エダマメ畑で虫がパリパリと勢いよく葉を食べていましたので、葉がなくなると炭酸同化(光合成)を行わず(後から葉が出てきても生長が大幅に遅れてしまう。)、マメの収穫ができなくなってしまうので、事務局が夕方、やむを得ず弱い殺虫剤を噴霧しました(昨年も8月中旬に実施)(澤村)。

第46回腐葉土づくりの会、速報

9月27日に腐葉土の袋詰めなどを行い、次回は、10月17日(土)9時から、枝豆の収穫をすることを決めました。

野草サミットに参加して

9月27日(日)、第3回野草サミットが埼玉会館で開催されました。

野草サミットの趣旨は「野草は野生生物の生息の基盤であり、花などが魅力的な“野草”の重要性を一般の方々に対して広めたい」とのことだそうです。

集会には埼玉県内の自然保護団体（NPO法人など）、野草に興味を持つ市民、行政（公園緑地課など）の担当者などが多数参加していました。事例発表では、県東部を中心に活動する、6活動事例が発表されました。野草サミットの雰囲気は、埼玉県東部が拠点であるという印象でした。

この日のサミットでは、「水辺の野草への応用生態工学的アプローチ」と題して、京都大学准教授・竹門康弘氏による基調講演がありました。“応用生態工学的”なアプローチからの、かなり専門的な内容でしたが、興味のある説明がたくさんありました。

ある研究者の〔仮説〕として、“赤松”が栄養の乏しい山の尾根でも生息するのは“菌類”の少ない（菌類を避けて）岩の尾根を生息場所に行っているからではないか。赤松は、“マツタケ”ぐらいの影響には対応できる。……結果 菌類が少ないのであれば、“ミズゴケ”の上にも赤松は生息する。（京都にある湿原の事例から）（石井）

浮きウキフェスタ21

水辺再生事業（浮島づくり）11月8日（日）



これまで4回開催してきた「行幸湖浮島づくり」は、今年は県の事業として、幸手市、栗橋町、五霞町や企業、桜堤保存会などの協力を得て、11月8日に開催されます。

川の再生への新たな取組（埼玉県）

今年も「浮島」を作って、行幸湖に浮かべます。

浮島づくりのほかにも、カヌー体験や「池の水族館」、ステージ演奏など一日中楽しめるイベントです。

浮島づくり参加者募集

浮島は昨年は2基でしたが、今年はなんと、14基作る予定です。

- ・日時 平成21年11月8日（日）
- ・時間 1回目 10時～12時 2回目 午後1時～午後3時
- * 開始時刻までに受け付けを終わってください。
- ・場所 権現堂公園 多目的運動広場
- ・参加費 無料
- ・対象 小学生以上
- ・問合せ先 42-8412 本田

市民環境会議・さって市民環境ネットは、「環境基本計画」に市民の皆さんの声を織り込むために作業してきました。そして今、環境ナビ（幸手市HP）、エコライフDAY、中川探検、腐葉土づくり、浮島づくり、グリーンコンシューマー運動などの活動に取り組んでいます。あなたも参加しませんか。いつからでも誰でも参加できます。

問合せは、本田（42-8412）まで。